

# 第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

3-③

## 施策

持続的に発展する社会形成に向けて資源を有効に活用する循環型社会の実現を図る

## 担当部局

環境リサイクル局



## 【快 適】

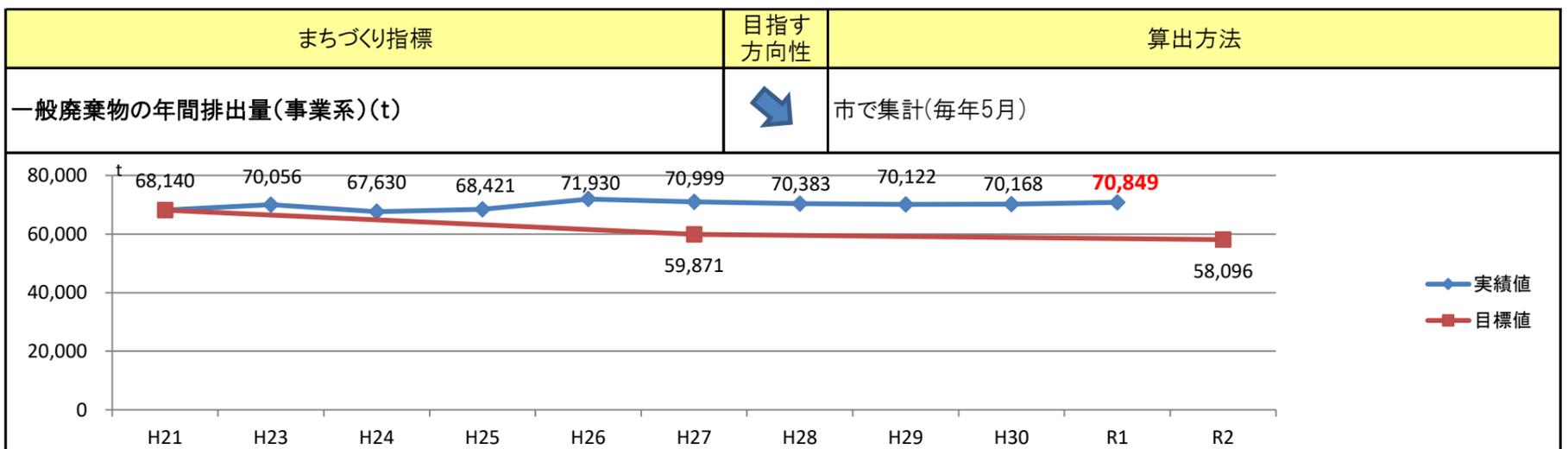
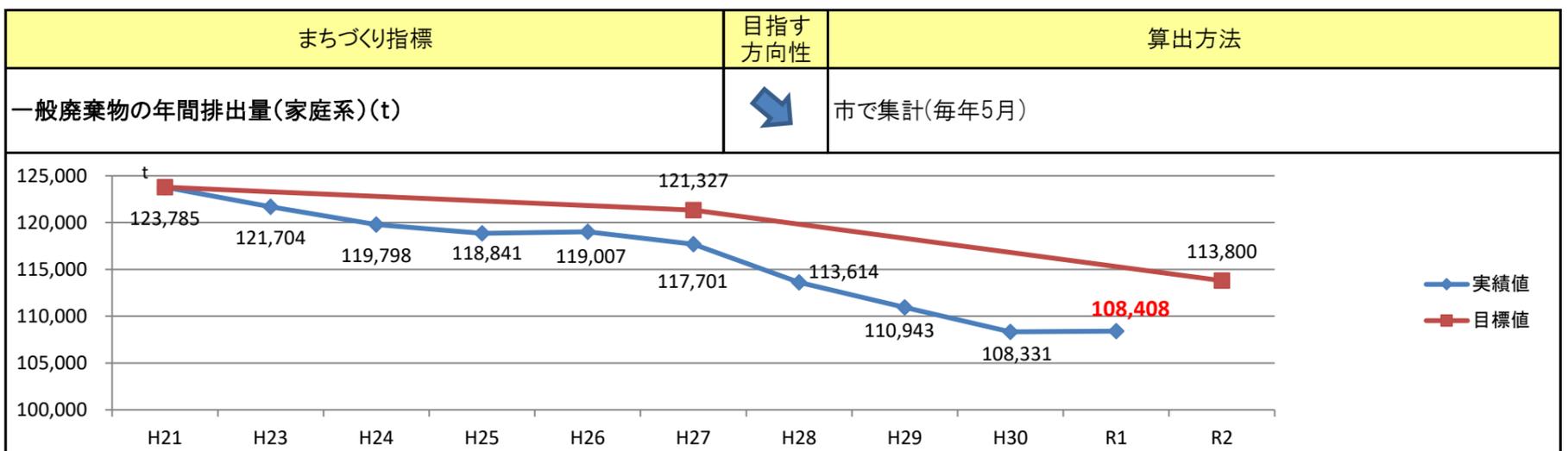
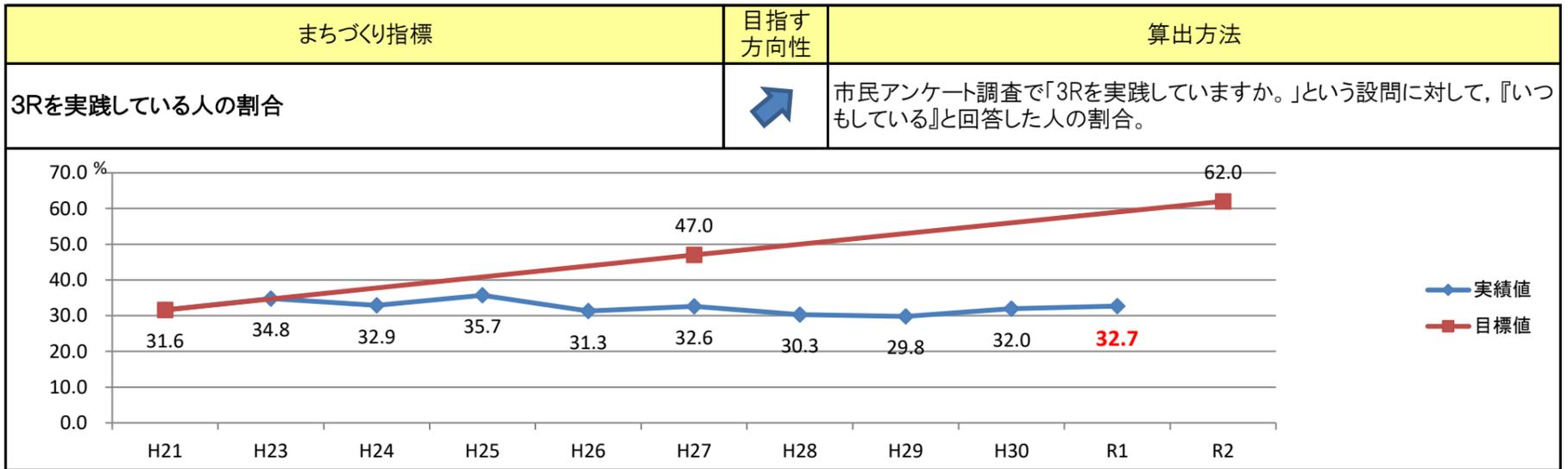
めざまちの姿

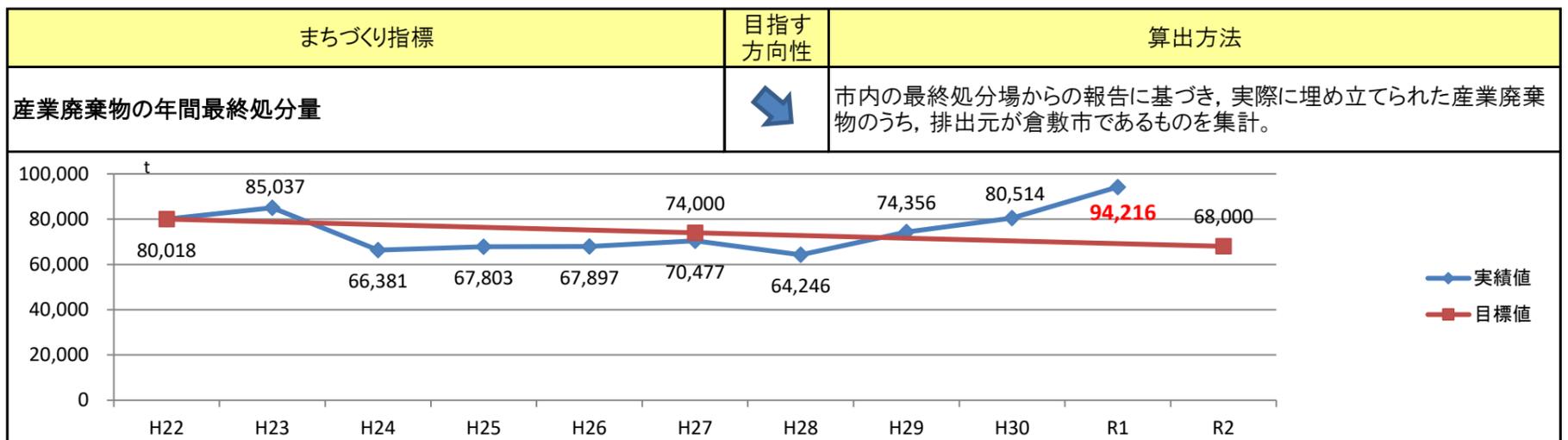
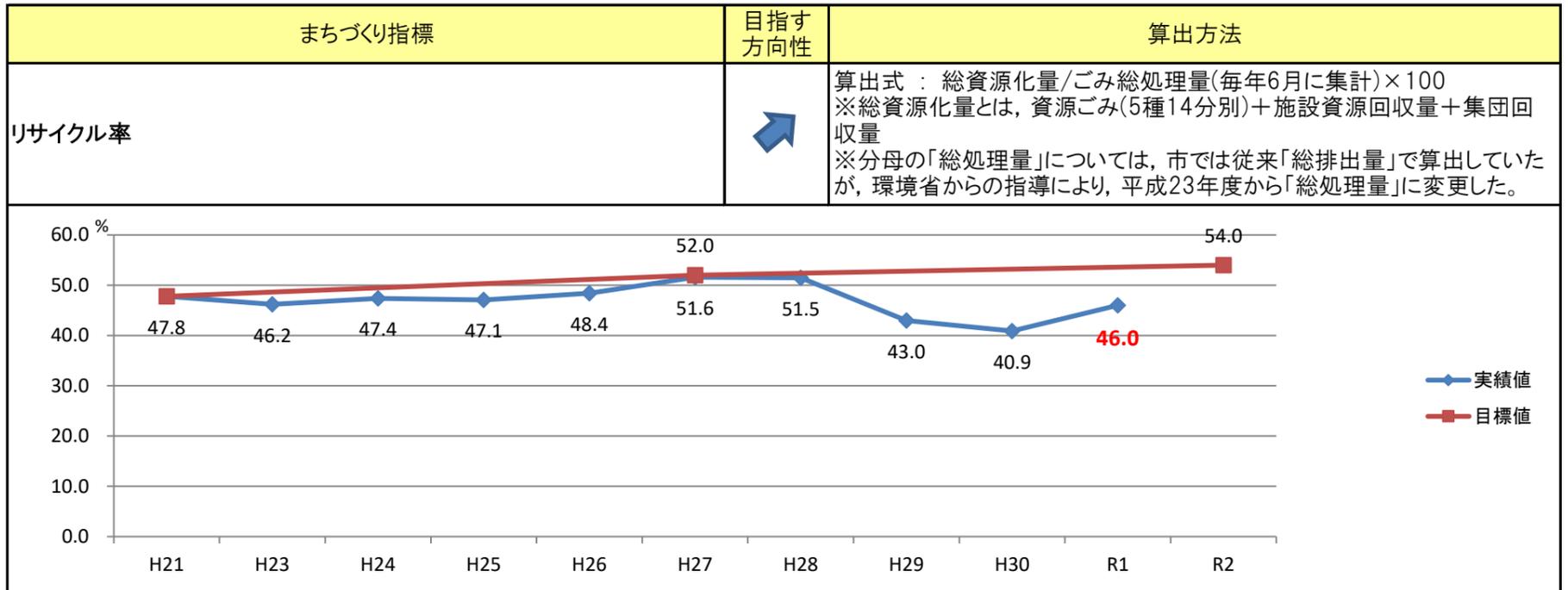
リデュース(ごみの発生抑制), リユース(再使用), リサイクル(ごみの再生利用)が徹底され, 循環型社会が形成されている

## 市の基本方針

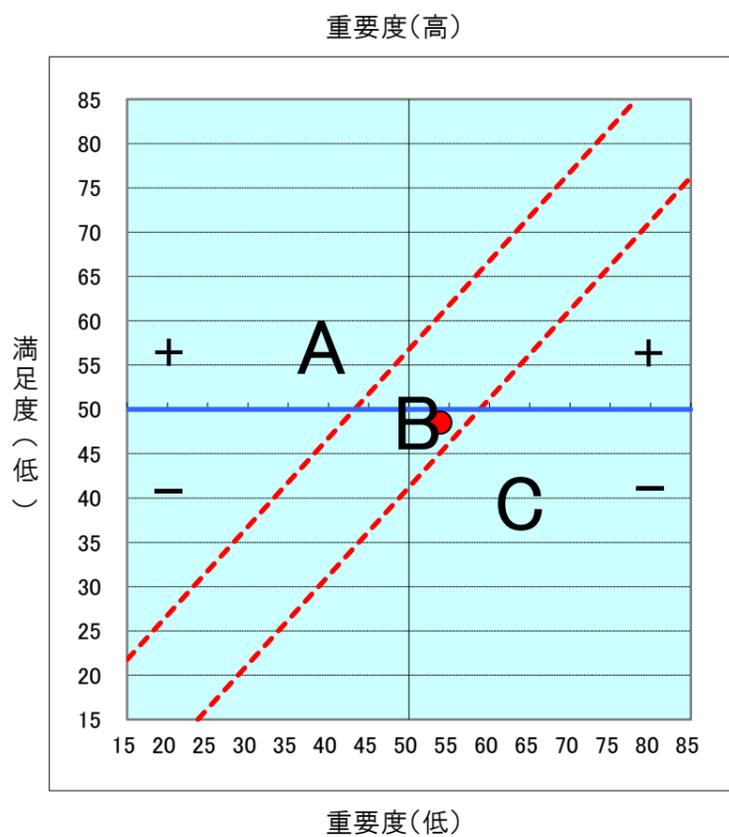
- 市民や事業者に対し, ごみの徹底抑制に向けた啓発に努めるとともに, 生産, 消費段階を含めた「ごみ」そのものの排出抑制への取組を支援します。
- 廃棄物の減量化・資源化及び適正処理に努め, 廃棄物の排出に伴う環境負荷の少ないまちをめざします。
- リデュース(ごみの発生抑制), リユース(再使用), リサイクル(ごみの再生利用)の3Rをより一歩進め, 不必要なものを購入しない(Refuse/リフーズ), 再生品の積極的使用(Regenerate/リジェネレート)を加えた5Rの推進に努めます。
- 事業活動に伴い生じる産業廃棄物の排出抑制, 循環的利用及び適正処理の推進を図ります。

## 数値目標





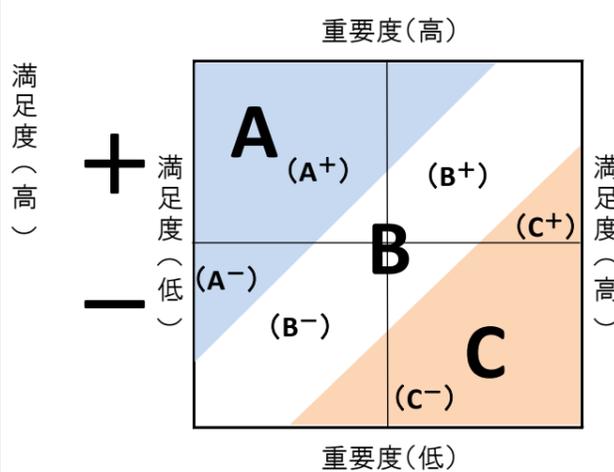
市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B <sup>-</sup>	48.50	53.90

●重要度に見合った満足度が得られている(B)  
●重要度が平均値より低い(-)

【グラフの見方】



A: 重要度に見合った満足度が得られていない領域  
 B: 重要度に見合った満足度が得られている領域  
 C: 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)  
 +: 重要度が平均値より高い部分  
 -: 重要度が平均値より低い部分

A<sup>+</sup>, A<sup>-</sup>, B<sup>+</sup>, B<sup>-</sup>, C<sup>+</sup>, C<sup>-</sup>

A<sup>+</sup>: 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
	生ごみ処理容器購入費補助事業	(Ⅰ) 一般家庭から排出される生ごみの再利用を図り、あわせてリサイクル意識の高揚及びごみ減量を促進することを目的に実施した。 (Ⅱ) 電気式処理機92件、コンポスト106件、ぼかし容器35件の購入に対して補助金を交付した。 (Ⅲ) 販売店等にも協力を求めるなど、広く制度の周知を図りながら継続して実施する。	3,004
重	ごみの適正処理・減量・リサイクル啓発事業	(Ⅰ) ごみの資源化と適正処理の確保を目的に5種14分別を基本とした収集を行い、これらの効果を高めることを目的に各種啓発事業を実施した。 (Ⅱ) リサイクル体験や環境展示、フリーマーケット等を企画し約6000人を集客した「リサイクルフェア」や、環境フェスティバル、食育フェア等関連イベントへの出展、市内10団体に対する出前講座、毎月10日のマイバック・マイ箸運動店頭啓発などに取り組んだ。 (Ⅲ) ごみの適正処理・減量・リサイクルに関心を持つ方が更に増加するよう、内容を充実させながら継続して実施する。	9,396
	環境学習推進事業(再掲)	(Ⅰ) 市民に環境問題に関心を持ち、理解を深めてもらうことを目的として各種普及啓発事業を実施した。 (Ⅱ) 環境NPO・企業等と連携・協力し、座学形式のものや、フィールドにおいて実際に体験して学ぶ各種講座を63講座実施し、3,151人の参加があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	4,722
	環境学習協働推進事業(再掲)	(Ⅰ) 専門的な知見を有する環境NPOと協働し環境学習を推進することを目的に実施した。 (Ⅱ) 子ども向けから一般向けを含め22事業を実施し、716人の参加があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	214
	ごみ減量化協力団体報奨金事業	(Ⅰ) ごみの減量と資源ごみの再資源化を促進することを目的に実施した。 (Ⅱ) 町内会・子ども会・老人会等の993団体が事業を実施し、11,171トンの資源ごみを回収した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	67,444
	ペットボトル回収事業	(Ⅰ) ごみの減量とリサイクルによる資源の有効活用を目的に、スーパーの店頭やごみステーション等で回収したペットボトルを選別・圧縮し、再商品化事業者へ引渡した。 (Ⅱ) 再商品化事業者へ引渡すペットボトルを、リサイクル協力店96店舗とごみステーションから661トンを回収した。 (Ⅲ) リサイクル協力店の拡充を図るなど、継続して実施する。	75,079
	水島清掃工場管理運営事業	(Ⅰ) 安全で安定したごみ処理を目的として実施した。 (Ⅱ) 倉敷市の可燃ごみ95,439トンを焼却処理するとともに、発生する熱を使った発電を行い、工場内の電力をまかなったほか、余剰電力(19,085MWh)を売電することにより、エネルギーの有効利用を行った。また、定期的なモニタリングにより、安心して安定的な施設の稼働確認を行った。 (Ⅲ) 管理運営委託により、適正な運営を継続して実施する。	634,503
	資源循環型廃棄物処理施設運営事業	(Ⅰ) 安全で安定したごみ処理及び廃棄物の再資源化を目的として実施した。 (Ⅱ) 倉敷市が搬入する一般廃棄物等(可燃ごみ、焼却灰、下水汚泥74,063トンと水島エコワークス(株)の独自事業である産業廃棄物68,206トンを受け入れ混合処理し、全て精製合成ガス、スラグ等に再資源化することにより、循環型社会の推進に貢献した。また、定期的なモニタリングにより、安心して安定的な施設の稼働確認を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,056,570
都	白楽町ごみ焼却処理場等解体・整備事業	(Ⅰ) 白楽町ごみ焼却処理場等を安全に解体撤去し、自己搬入ごみの受入施設の整備を行うことを目的として実施した。 (Ⅱ) 白楽町ごみ焼却処理場等解体・施設整備工事を実施中。 (Ⅲ) 周辺への影響に配慮しながら、継続して実施する。	604,452
重都	(仮称)白楽町汚泥再生処理センター整備事業	(Ⅰ) 白楽町し尿処理場の老朽化に伴い、施設更新を行うことを目的とし、白楽町し尿処理場は解体撤去し、跡地に(仮称)白楽町汚泥再生処理センターの整備を行う。 (Ⅱ) (仮称)白楽町汚泥再生処理センターの施設基本設計、及び建設工事の入札・契約関連書類の作成を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	24,687
重都	(仮称)倉敷西部クリーンセンター整備運営事業	(Ⅰ) (仮称)倉敷西部クリーンセンターを整備し、一般廃棄物を安定的に処理することを目的として実施した。 (Ⅱ) 環境影響評価の準備書及び評価書作成を行った。また、DBO事業としての特定事業の選定から入札公告まで、一連の事業者選定業務を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	77,909
	環境衛生改善事業費補助金交付事業	(Ⅰ) 倉敷市環境衛生改善地区が行うごみステーション整備等の事業を補助し、環境衛生の改善を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) ごみステーション整備124件、共同清掃用器具の購入94件等について補助を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	19,723